

2026年3月30日
東邦アセチレン株式会社

東邦アセチレンが東北大学発スタートアップ企業3DC社に出資 次世代電池分野の発展に貢献

東邦アセチレン株式会社（本社：宮城県多賀城市、代表取締役社長：堀内秀敏、以下東邦アセチレン）は、3月30日に株式会社3DC（本社：宮城県仙台市、代表取締役CEO：黒田拓馬、代表取締役CSO：西原洋知東北大学材料科学高等研究所教授、以下3DC社）が実施した第三者割当増資50百万円を引き受け、同社に出資しました。

3DC社は東北大学西原研究室にて発明された、蓄電池をはじめとする幅広い用途での活用が期待される次世代炭素素材「Graphene MesoSponge®（以下GMS）」の量産化を目指し、2022年に設立された東北大学発のスタートアップ企業です。

GMSとは、優れた導電性および多孔質構造、機械的柔軟性を有するリチウムイオン電池の性能を向上させる機能性導電助剤です。電気自動車やスマートフォン、ノートPCなどで利用されているリチウムイオン電池の高効率化、長寿命化、安全性向上、環境負荷低減など性能面の大幅な向上が可能になります。

加えて、全固体電池をはじめとした次世代電池への応用や電池領域を超える新たな産業への展開も期待されています。

今回の出資を通じて当社は、これまで培ってきた技術力および事業基盤を活かし3DC社との連携を強化することで、次世代電池分野の発展と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【東邦アセチレン代表取締役社長 堀内秀敏のコメント】

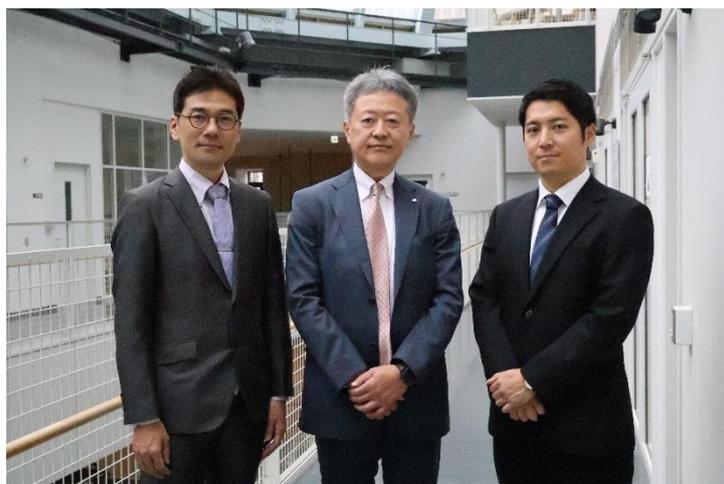
「3DC社様のGMSは、電池の高効率化・長寿命化・安全性向上を実現可能にする画期的な素材であり、その将来性に強く期待しております。当社はこれまで、産業ガスを通じて地域社会に貢献してきました。ガスは素材製造や電池製造プロセスにおいても不可欠な存在であり、製造工程の高度化や品質向上に大きく関わっています。今回の出資を契機に、3DC社様との連携を一層強化することで、研究開発の推進を図るとともに既存事業や成長分野への積極的な事業拡大に取り組んでまいります。」

【3DC社 代表取締役CEO 黒田拓馬のコメント】

「この度は東邦アセチレン様からのご出資に心から感謝申し上げます。ガスは、弊社が量産化を進めているGMSの製造プロセスにおいて鍵を握る重要な原料物質であり、産業ガスで長年東北地方をけん引されてきた東邦アセチレン様に資本参画いただけたことを大変心強く思います。東邦アセチレン様との研究開発・事業連携を通じてGMSのいち早い事業化につなげるとともに、両社の発展のみならず、宮城県、東北地方の発展に繋がるよう取り組んでまいります。」

【株式会社3DC 会社概要】

本社所在地 : 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1
国立大学法人東北大学産学連携先端材料研究開発センター
代表者 : 代表取締役CEO 黒田 拓馬、代表取締役CSO 西原 洋知
設立日 : 2022年2月
事業内容 : 炭素材料の開発・製造・販売
URL : <https://www.3dc.co.jp/ja>



(右から3DC社CEO黒田拓馬氏、当社社長堀内秀敏、3DC社CSO西原洋知氏)

以上